

2025年2月7日

2025年度から、順次相鉄線に  
**新型車両「13000系」を導入**  
デザインブランドアッププロジェクトは次のステージへ、次の「未来」へ

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道㈱（本社・横浜市西区、社長・千原 広司）は、2025年度から順次相鉄線に、新型車両「13000系」（以下、同車両）を導入します。

相鉄グループでは、2014年から駅舎や車両、制服などを統一したコンセプトでデザインする「デザインブランドアッププロジェクト」を進めてきました。今回「デザインブランドアッププロジェクト」の第2フェーズとして、これまでのデザインコンセプト「安全×安心×エレガント」に「未来」というキーワードを加えて同車両をデザインし、新型車両として導入するものです。

同車両の前面は、水を切り拓いて進む、海の生き物の流麗な造形を参考にデザイン。また前照灯は、新たに加えたコンセプト「未来」に基づき「未来を見つめる目」をデザインし、それを表現するために、クリスタルカットされたアクリルを配置した、相鉄のオリジナルとなっています。なお、この前照灯の両端部には新たに「Concept Emblem」と呼ぶエッジの際立った部品を新設し、より一層エレガントさを感じられる工夫を施しています。今後、全体パースや運行開始時期、運行区間、車両情報などの詳細は、決まり次第お知らせします。

相模鉄道では、これまで「デザインブランドアッププロジェクト」の概念に基づいて「12000系」（相鉄・JR直通線用車両）や「20000系」、「21000系」（相鉄・東急新横浜線用車両）などを導入し、沿線のブランドイメージ向上に尽力してまいりました。今後、相鉄線沿線では、相鉄本線「瀬谷駅」から北に約2キロの場所で、「2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）」が開催されるなど、これまで以上に相鉄線沿線に沿線外の方々が訪れます。お客様の一番のタッチポイントである車両に、「新コンセプト」に基づいた新型車両を順次導入することで、「次のステージ」へ、「未来」へ、相鉄線や相鉄線沿線のさらなる認知度向上・イメージ向上につなげてまいります。

概要は別紙のとおりです。



13000系の特徴である「前照灯」（イメージ）

## 新型車両「13000 系」の概要

1. 車両名称  
13000 系
2. 導入年度  
2025 年度から順次
3. 車両コンセプト  
安全×安心×エレガント×未来
4. 車両の特徴

## 【車両全体】

- 生き物のような流麗な造形

## 【車両前面】

- 力強く頼りがいのある、それでいて優しさも感じられるような顔つき
- スピードを感じるシャープなエッジと有機的形状の融合した造形

## 【前照灯】

- 未来を見つめる切れ長の目
- 入線時にホームから車両の横顔が美しく見える新設計を実施
- 前照灯の両端部には、「13000 系」の「Concept Emblem」を採用
- 前照灯の内部には、線路の色であるさび色をイメージした配色を実施

## 【車体色】

- 横浜をイメージした濃紺色「YOKOHAMA NAVYBLUE」で塗装

## 5. その他

全体パース・運行開始時期・運行区間などは、今後詳細が決まりましたら、お知らせします。



車両側縁に設置される「Concept Emblem」  
(イメージ)



## 「デザインブランドアッププロジェクト」の概要

## 1. 名称

デザインブランドアッププロジェクト

「デザインブランドアッププロジェクト」  
公式ウェブサイト

※2月7日(金) 16時ごろ更新(予定)

○公式ウェブサイト：<https://www.sotetsu.co.jp/design-pj/>

## 2. 目的

2014 年から開始。お客さまとのタッチポイントである駅舎や車両、制服など統一したコンセプトでデザイン・リニューアルすることで、相鉄グループや相鉄線、相鉄線沿線のブランディングや認知度、イメージ向上を目的に実施。

## 3. コンセプト

これまでの 100 年を礎に、これから 100 年を創る。

Thinking of the next century.

## 4. これまでのデザインコンセプト

「安全×安心×エレガント」

～目先のトレンドに左右されない「醸成するデザイン」～

## 5. 新コンセプト【第2フェーズ】

安全×安心×エレガント×未来  
相鉄のデザインブランドアッププロジェクトは  
次のフェーズへ。

鉄道はどこまで進化できるだろう。

第1フェーズでは、安全を大切に、安心であるべき乗り物に、  
横浜を走る鉄道に似合う、エレガントという服を着せました。

第2フェーズの今回は、第1フェーズの「安全、安心、エレガント」に  
「未来」を加えました。

AIの存在が世界をより便利にしています。  
様々なテクノロジーが世界を豊かにしようとしています。  
人々の想いが地球環境の問題を解決へと向けて歩もうとしています。

社会インフラである鉄道もまた、  
様々な観点から未来へと向かわなければなりません。

そんな想いを込めて、「未来を見つめる顔」をデザインしました。

AIの技術を用いてパターン化し、  
数多の案の中から想像し、選び、議論を重ね、デザインする。  
その工程を何度も何度も繰り返しながら車両をデザインしていきました。  
沿線の未来を築く一助になれる事を願いながら。

私たち相鉄は、鉄道だけでなく、沿線の皆様と共に、  
より暮らしやすい沿線の未来を見つめ続けていきたいと考えています。

みんなが見たい未来へ向かって。

13000 SERIES MIRAI 出発します。

## 6. これまでの導入事例

### 【主な車両】



#### 9000系リニューアル

2016年4月に登場。  
相鉄グループ創立100周年と都心への乗り入れを視野に、快適性・デザイン性を向上させた車両です。「ヨコハマネイビーブルー」の外装の他、グレートーンの内装やスコットランド製の革をボックスシートに導入。昼と夜で色調が変化する調光・調色機能付きの車内照明などを採用しています。2016年にグッドデザイン賞を受賞。

#### 12000系（相鉄・JR直通線用車両）

2019年4月に登場。  
相鉄・JR直通線用の車両として、JR東海道（貨物）線・横須賀線・埼京線などを経由して、新宿方面に乗り入れています。先頭形状（前面）は、代表的な能面の1つである「獅子口」をイメージした力強いデザインで、前方監視カメラや車内防犯カメラを初めて搭載した車両です。2019年にグッドデザイン賞を受賞。

#### 20000系・21000系（相鉄・東急新横浜線用車両）

○20000系  
2018年2月に登場。  
新型車両として「デザインブランドアッププロジェクト」のコンセプトを初めて反映した車両で、東急東横線直通用で10両編成で運用。2018年にグッドデザイン賞を、2019年に鉄道友の会からローレル賞を受賞。

○21000系  
2021年9月に登場。  
東急目黒線直通用として、8両編成で運用。20000系を基本に東急目黒線の規格に合わせた装備類を搭載。

### 【主な駅舎】



#### 相鉄本線 平沼橋駅

外壁やホームの柱などダークグレーをキーカラーとして色を統一。流行に左右されない、存在感のある駅舎デザインを一新しました。

#### 相鉄本線・相鉄いずみ野線 二俣川駅

相鉄本線・相鉄いずみ野線が分岐するターミナル駅の拠点性が感じられる駅として、駅全体のリニューアルを行いました。  
鉄・ガラスの他、キーマテリアルであるレンガ壁を外観に使用。象徴的な街の玄関口として存在感ある駅の顔となります。

#### 相鉄新横浜線 羽沢横浜国大駅

2019年に相鉄・JR直通線の開業に併せて、共用を開始。キーマテリアルである、鉄・ガラス・レンガを随所に使用し、外壁はダークグレーで統一。「羽沢」や「相鉄新横浜線」のシンボル。

## 【参考】車両デザイン

### ○デザイン過程

デザインコンセプトは「安全×安心×エレガント×未来」。

未来を見つめる顔をデザインするために、生成AIも活用しています。はじめにスケッチを繰り返し、その中から原形となるイメージを3Dでモデリング。それらを生成AIに学習させ何千というバリエーションを出し、そこからセレクトしたものに更に手を加えていました。アナログな作業でデザイン修正したり、再構築したり……。検証作業を繰り返し行うことで、純度の高いデザインを目指しました。

相鉄線沿線の皆さまはもちろん、ご利用になるお客さま、鉄道を愛する皆さまに愛される車両になることを一番に考えてデザインしました。未来へ向けて。

### ○水野 学氏プロフィール

good design company 代表

1972年生まれ。1998年 good design company 設立。

ブランドや商品の企画、グラフィック、パッケージ、インテリア、宣伝広告、長期的なブランド戦略までをトータルに手掛ける。

2013年より、相鉄グループ「デザインブランドアッププロジェクト」に携わり、全体のクリエイティブディレクターとして、車両・駅舎・制服のリニューアルから広告・PR・イベント企画まで幅広く担当。相鉄車両のデザインは、9000系リニューアル車両(2016年)、20000系(2017年)、12000系(2018年)のデザイン監修に次いで、今回で4車両目となる。

世界三大広告賞の「Cannes Lions」金賞、「The One Show」金賞、「Clio Awards」銀賞ほか、国内外で受賞歴多数。



### ○吉田 真也氏プロフィール

SYD INC.代表

・1984年生まれ

・2012年

SHINYA YOSHIDA DESIGN 設立。元自動車のメカニックの経験を活かし、日用品のプロダクトデザインからエンジニアリングまで、幅広いプロジェクトに参画。

・主な受賞歴

iF DESIGN賞、GOOD DESIGN賞、ELLE DECOR Young Japanese Design Talent、毎日デザイン賞2019ノミネートなど

